

足踏式消毒液スタンドをご寄贈いただきました

湖南広域消防局

10月30日（金）、栗東市内に事業所を置く(株)光栄テクニカ様から栗東市役所および中消防署(栗東市)に対して、新型コロナウイルス感染症対策等を目的とした「足踏式消毒液スタンド」をご寄贈いただきました。

コロナ禍でより一層重要視される感染対策ですが、市役所、消防署に来庁される地域住民や勤務する職員を感染症から守り、市内での感染拡大防止に繋げようという思いから独自の技術を駆使して製造されたものです。

寄贈された物品は中消防署のある総合庁舎のエントランスに設置し、積極的な活用を呼びかけるとともに、今後も地域と協力して感染症対策に努めていきます。



無人航空機を使った支援協力を締結

豊中市消防局

豊中市消防局では、地震等の大規模災害や、山火事等の規模の大きい火災の対応を迅速に行うため、民間企業との間に「災害時等の無人航空機支援協力に関する協定」を、令和2年10月1日に締結しました。

災害程度や範囲を無人航空機の支援を受け、的確な情報把握と迅速な災害対応を行うことを目的としています。

平時時においても、情報交換や訓練への参加を通じ、災害時に円滑な連携が行えるよう努めます。



消防通信 望楼 ぼうろう

救急標語を募集しポスターを作成しました!

尼崎市消防局

尼崎市消防局救急課では、市内の小学校6年生を対象に、「応急手当」及び「予防救急」という2つのテーマにおいて救急標語を募集し、応募総数1,388作品の中から、それぞれ最優秀賞1作品、優秀賞2作品を選出しました。応募された作品は、「救急標語ポスター」として作成し、救急医療週間中（9月6日（日）から12日（土））に、市内各所において掲示していただきました。

これは、今年度から始めた新たな取り組みであり、児童が家族と一緒に標語を考案することや、市民が掲出された作品に触れ、救急に纏わる出来事に関心を寄せることで、救急業務への理解と認識を深めていただくために実施しました。

今後も、救急行政が抱える課題について市民の皆様とともに解決し、よりよいまちづくりを推進するよう努めて参ります。



「松山市消防団チェーンソー取扱い訓練会」を実施

松山市消防局

松山市消防団は、全40分団にチェーンソーを配備したことに伴い、10月25日に外部講師を招いてチェーンソー取扱い訓練会を実施しました。

訓練会には、災害出動及びソーシャルディスタンスを考慮し、19分団40名が参加しました。

山間部、島しょ部を管轄する当団にとって、土砂災害発生時にチェーンソーの取扱いは必須であるとの団員からの声掛けで行われた訓練会の実施は、チェーンソーに関する知識、技術の修得はもとより、参加団員間の連携強化にもつながる結果となりました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】